

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらない状況が続いています。感染予防をしてもいつ、どこで、どのようにして感染したかわからないことや、家庭内での感染が広がってきている現状を大変危惧しています。今月は運動会を予定していますが、感染拡大が収まり何事もなく運動会が開催されることを願うばかりです。できる限りの感染対策をして準備を整えていきます。

「げんきっこ広場」が始まりました



雨天で延期が続いていた「げんきっこ広場」の1回目がやっとできました。これは、週に2回朝9時50分にもも、ふじ、ばらさんが園庭に集まりクラスごとに並んだり3クラス一緒にゲームをしたりする活動です。年長ばら組さんのきびきびした動きに刺激を受けながら、ふじ組、もも組さんもまねをしようと必死。さっきまでばらばらだったもも組さんも、「前にならえ」という号令に反応し、並んでいるように見えてきます。「げんきっこ広場」は、運動会に向けてのきっかけ作りをしていき、いずれは開会式への練習へと変わっていきます。そして、運動会に向けてみんなで気持ちを盛り上げていこうと思っています。



ぬりぬり大作戦 「ばら組編」



絵の具を使って全身“ペインティングあそび”をしました。テーブルに出てきた絵の具に“そーっ”と触れ、次第にテーブル上がキャンパスになり、おなかに「ペタッ」と絵の具が着くとそこからはからだ“ぬりぬり大作戦”。「自分で自分の体に絵の具をぬりぬり」、「友だちの背中を両手でぬりぬり」、その手でついでに「担任のTシャツをぺたぺた」。更に盛り上がり、「あなたはどなたですか?」という状態になっていました。「ぼくはそこまでダイナミックな絵の具遊びはちょっと苦手だな!」と感じた子は、自分のペースで“そろりそろり”と遊んでいました。途中から大きな白い紙が出てくると全身を使ってぬたくりをしていました。



ささやまっこだより

9月の行事予定表

14日(火)	運動会リハーサル (もも、ふじ、ばら組)【9時30分までの登園】
17日(金)	運動会準備(会場設営)
18日(土)	運動会 (雨天の場合順延)
21日(火)	避難訓練
28日(火)	誕生会
6日、27日…えいごであそぼう(ふじ組)	
13日…えいごであそぼう(ばら組)	

やさいで“スタンプ ぼん”

もも組さんが、野菜を使ってスタンプあそびをしました。「やさいでスタンプができるのかな?」と思ったことでしょう。担任の説明を聞き、野菜の断面に絵の具を付け画用紙に“ぐぐっ”。力加減がわかってくと“ポン”とつけられるようになりました。画用紙の中には、「やさいカレー」が出来上がっていました。具材はにんじん、ピーマン、なす、かぼちゃ、れんこん、オクラ。栄養たっぷりですね!



17文字のこめられた思い

- ☆それ私? すごい顔して 先生ごっこ (保育士)
- ☆読み聞かせ 毎夜毎夜の 大熱演 (保護者)
- ☆こそだては びっくりばこを あけるよう (保護者)
- ☆力こぶ 日々の保育で つちかわれ (保育士)

このメッセージは、子どもたちからもらった感動や喜びを17文字に表したものです。全国の保護者や保育士の応募作品より選ばれた一部です。思わず笑ってしまうものや何気ない日常にある大切なものが表現されています。

9月号



令和3年9月1日
篠山保育園 園長 足立善一郎

「大人には不可解な子どもの行動にもワケがあります」

『遊んでいるとどンドンおもちゃを散らかして片づけをしません』
(4歳児)

➡行動の意味 発想力が豊かな証拠なので、子どものあそびを柔軟に見てあげましょう。

子どもは一つのアソビをしていると、どンドン発想が広がっていきます。お人形さん遊びをしても、「熱が出ちゃった、病院に行かなきゃ。病院へ行くには車が必要。」といった感じでイメージが広がり、必然的におもちゃの種類も広がっていきます。大人はそれが許容できず、つい「片づけてから次のことをしなさい」と言ってしまうのですが、子どもにとっては遊びが継続しているので、それに不満を感じ、遊ぶのも片づけもイヤになってしまいます。子どもの遊びをもっと柔軟に受け止め、「いつ、片づける?」と子どもに聞き、子ども自身に決めさせるといいでしょう。

➡対応法 片づけを義務にせず、片付けのルールを教える。

“ひとつの箱に入れるだけ”、というのはあまり片づけの意味がありません。子ども専用の棚に入れるとか、ものに応じて収納箱を用意するなど、ものの指定場所を決め、一目でわかるようにします。すぐに取り出して片づけられる環境を整えると、片づけをしやすくなります。

「0歳児から5歳児行動の意味とその対応」今村和子著

保育園でも収納する棚におもちゃ別の写真を貼り、

またおもちゃ箱にも写真や目印

をつけ誰がみてもわかるようにしています。

4歳ぐらいになるときれいに収納することで達成感を感じている子たちもいます。



車上荒らしに 注意しましょう

忘れた頃の車上荒らし!以前、保護者の方も被害にあいました。朝夕の送迎の際の数十秒間です。車内にカバンを置いたままにしないことです。現金もですが、母子手帳なども一緒に持ち去られてしまいます。特に夏場はエンジンをかけエアコンをつけたまま車を離れたときに、犯行におよんだ例があります。カバン類は目に見えない所に置くか、身に着けて車から離れてください。